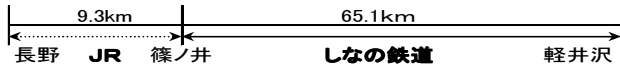


しなの鉄道株式会社の現状及び経営課題について

会 社 の 概 要

- 開 業 平成9年10月1日
- 資本金 23億6445万円
- 主要株主 長野県(75.4%)、沿線市町(14.9%)
- 社員数 231名(平成25年4月1日現在)

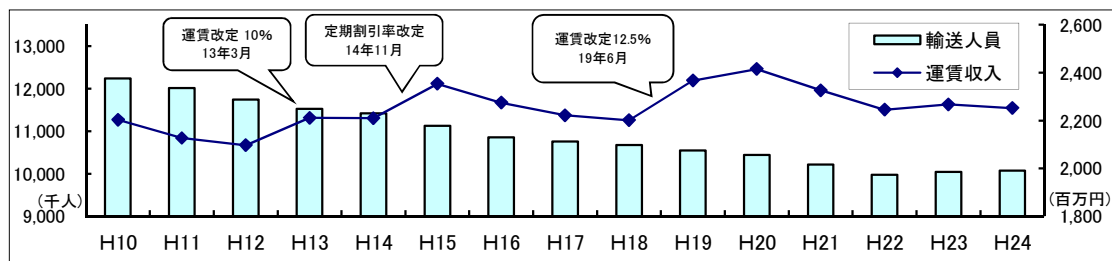
- 区 間 軽井沢～篠ノ井間 65.1km(長野まで直通乗り入れ)

- 駅 数 15駅(開業時) → 19駅(H24)
- 輸送人員 1,224万人(H10) → 1,007万人(H24) 82.3%
- 輸送密度 8,780人/日[※](H10) → 6,831人/日[※](H24) 77.8%

〔平成24年度決算状況〕		
営業収益	28億16百万円	(うち旅客収入 22億52百万円)
営業費用	28億11百万円	
営業利益	5百万円	
経常利益	10百万円	
最終利益	1億22百万円	
繰越利益剰余金	3億46百万円	

経 営 状 況 の 推 移

- 開業当初から赤字決算が続く(平成14年度までの間:毎年約2億円～6億円)
- 開業からわずか5年目の平成13年度には、債務超過に陥る
- 平成14年度から、経営改革に着手
- 平成16年度、長野県から103億円余の公的支援。併せて、減損会計を導入
- 平成17年度、開業以来初めての黒字決算
- 開業以来、3回の運賃改定を実施(平成19年6月1日に3回目の運賃改定12.5%を実施)
- 平成22年度決算において、累積損失の解消

輸送人員・運賃収入の推移



経 営 改 革 の 実 施 状 況

- 経費の削減
 - ・ 人件費の削減
16億57百万円(ピーク時:H11) → 11億03百万円(H24)
△5億54百万円 33.4%減
列車ワンマン化・駅の委託化等による人員削減、退職社員の再雇用 等
 - ・ その他の経費の削減(人件費、修繕費、減価償却費、諸税を除く経費)
7億48百万円(H10) → 6億63百万円(H24) △ 85百万円 11.4%減
契約内容を全て見直しする等の徹底した合理化、動力費の削減 等
- 旅客収入以外の収入の増収策(構内営業料、広告料、旅行業等)
1億01百万円(H10) → 2億42百万円(H24) +1億41百万円 2.40倍
企画列車・有料快速の増発、列車内にDVD広告の新設 等
- 旅客サービスの向上
ホーム段差の解消、通勤通学時間帯の列車増発 等

県・沿線市町からの支援

〔長野県〕
103億円余の公的支援
借入金に対する損失補償
設備整備に対する補助

〔沿線市町〕
新駅(4駅)に対する建設費負担
駅前広場の整備
設備整備に対する補助

課 題 と 今 後 の 方 向

経 営 課 題

旅客収入の増加が見込めない

- 平成23年度、24年度と2期連続して前年度を上回ったものの、長期的にみると輸送人員の減少傾向に完全に歯止めが掛かっていない。
- 運賃は、開業以来3回改定しており、JRが据え置く中で、これ以上の運賃改定は、利用者の理解を得ることが難しい。
◇ 運賃レベル(対JR時比)
定期外 1.24倍、通勤定期 1.49倍、通学定期1.61倍

経費の増加が見込まれる

- 老朽化した車両、設備の維持、更新のため、修繕費や設備投資の増加が見込まれる。
- 人件費は、増加傾向となる見通し。
◇ 社員年齢構成比: 40歳以下 67.5%、41～50歳 22.1%
51～60歳 4.3%、61歳以上 6.1%

多額の借入金を返済していく必要がある

- 現在の借入金残高
短期借入金: 4億50百万円
長期借入金: 16億円 ⇒ 元本返済額 3億円(H24)
新規借入額 2億円(H24)
・ 今後、老朽化した設備等の更新や北しなの線の開業に伴い、多額の設備投資が必要となる。
- 期間利益は、短期借入金の返済に充てており、設備投資は、長期借入金で資金調達している。

長野以北並行在来線の着実な開業準備

- 社内に「長野以北開業推進本部」・「長野以北開業準備室(現 北しなの線開業準備室)」を設置し、全社をあげて開業に向けた準備作業に取り組んでいる。

今 後 の 方 向

輸送人員の維持増加に向けた取組強化

- ▶生活路線としてのサービスの向上
- ▶多様化した観光ニーズに対応した営業戦略の展開
- ▶魅力ある駅づくり、『まちのステーション』としての駅の活性化

効 率 経 営 の 推 進

- ▶経費の削減・合理化、業務の外部委託など徹底したスリム化
- ▶適正な人員配置、ワンマン運転の拡大
- ▶計画的な設備投資

適 正 で 計 画 的 な 設 備 投 資

- ▶輸送の安全確保や長野以北開業など、必要な設備投資は着実に実施
- ▶それ以外の施設、設備等については、財務状況を勘案しつつ、優先度を判断しながら計画的に更新

計 画 的 な 準 備 の 実 施

- ▶平成25年度中の鉄道事業許可取得を目指す。